

工学部教室系技術職員研修（第10回）実施要項

1. 目的

教室系技術職員としての立場と責務を自覚させるとともに、大学における技術職務全般への視野を養い、自己啓発、相互啓発の機会を与えることにより、職員としての資質の向上及び新技術の修得を図る。

2. 対象者

工学部教室系技術職員全員

（超高压電子顕微鏡センター、ラジオアイソトープ総合センターを含む。）

3. 期間

平成13年8月21日（火）～8月23日（木）

（台風11号接近により、8月21日（火）分は10月17日（水）へ変更）

4. 場所

大阪大学附属図書館吹田分館視聴覚ホール

5. 日程

別紙のとおり

6. 研修テーマ

工学部教室系技術職員による技術の継承、発展及び開発について
サブテーマ「21世紀における技術のあり方」

7. 研修方法

1、「21世紀における技術のあり方」に関する基調講演及び講演

2、学外施設見学（三菱重工業（株）高砂研究所）

3、専門分野等によるグループ又は個人単位によりテーマを設け、研究成果の発表を
全体研修の場で行う。

（発表は、口頭発表のほか製作物やパネルを展示し、質疑を行うことも含む。）

8. 講師

基調講演講師 三菱重工業（株）高砂研究所 所長 青木素直

（台風11号接近により、8月21日（火）分を10月17日（水）へ変更したことに伴い中止。）

講演講師 工学研究科 教授 豊田政男

技官講演講師 工学部技術専門職員 牧山博美

工学部技術専門職員 川端弘俊

9. 研修のまとめ

研修終了後、報告集を発行する。

10. 経費

受講者の研修に要する経費は、工学部の負担とする。

なお、懇親会費は受講者の負担とする。

11. 研修の記録等

研修を修了した者には修了証書を交付し、その旨人事記録に記載する。

12. 研修担当掛

総務課人事掛 （内線7207・7208）